



換気にもっと気配りを

●ガス機器を使用するときは、必ず換気をしてください

ガスが燃えるには、新鮮な空気が必要です。

換気が不十分だと不完全燃焼で一酸化炭素(CO)中毒事故が起る恐れがあり、最悪の場合には死に至ることがあります。小型湯沸器をご使用中に火が消える場合は、直ちに使用を中止してください。点検が必要なため、お買い求めの販売店やガス会社にご連絡ください。

[1時間の使用に必要な空気]

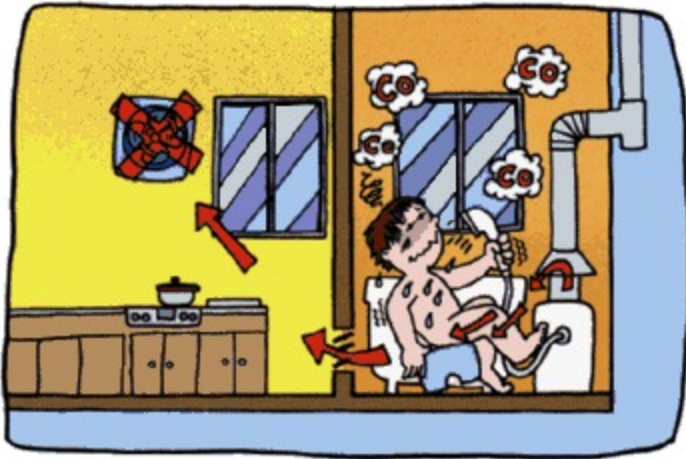
- ・ガスコンロ (ガス消費量7.3kW) → 7.6立方メートル (ドラム缶38本)
- ・小型湯沸器 (ガス消費量11kW) → 11.4立方メートル (ドラム缶57本)
- ・CF式風呂がま (ガス消費量12kW) → 12.4立方メートル (ドラム缶62本)
- ・大型給湯器16号 (ガス消費量34.9kW) → 36立方メートル (ドラム缶180本)

●SHOWER

シャワー使用中はキッチンの換気扇をストップ!

屋内に設置された煙突式風呂がまでお風呂を沸かしているときやシャワーを使っているときは、隣のキッチンで換気扇を使用しないでください。

風呂がまの排気が逆流して、一酸化炭素中毒を起こすことがあります。



●KITCHEN

小型湯沸器を使用時の注意事項

小型湯沸器をご使用の場合、以下の点にご注意ください。

- ・必ず窓を開けるか、換気扇を回してください。
- ・風呂、洗濯、シャワー用には使わないでください。
- ・気分が悪いと思ったら、ただちに使用を中止して、換気を行ってください。



●STOVE

金網ストーブに異常が現れたら

お使いの金網式ガスストーブに次のような現象が見られたら、すぐに使用を中止してください。

不完全燃焼を起こしています。

- ・金網が変形、破損している。
- ・ススが出る。
- ・使用中、赤熱ムラができる。
- ・イヤな臭いがする。

※ 暖房シーズン前に、プロに点検してもらうことをおすすめします。(有償)



●RESTAURANT

業務用ガス機器を使う時も換気に注意を

飲食店など、業務用にガス機器をお使いの時も換気に十分注意してください。

- ・換気扇、排気ファン等で常時換気するよう、全員が心がけてください。
- ・湯沸器をご使用の際も忘れずに換気してください。
- ・流し台と湯沸器の設置場所が離れている場合も、換気装置の運転を確認してからお使い下さい。
- ・排気ダクトなどで共同換気を行っている建物では、換気装置稼働時間内にガスをご使用ください。

